

# 2025年3月期 第1四半期決算説明会資料

2024年8月6日  
株式会社ニチレイ

- **2025年3月期 第1四半期実績 (P.2～6)**
- **2025年3月期 通期計画 (P.7～15)**
- **Appendix (P.16～24)**

注：当資料のグラフ・表などで表示されている数値は、別途断り書きがある場合を除き、金額単位表示未満は四捨五入し、一部で端数調整のため切り上げ・切り捨てを行っている。

# 第1四半期実績

## 加工食品事業が全体をけん引し、売上高・営業利益ともに堅調に推移

(単位：億円)

	第1四半期				営業利益率
	実績	前年同期間比		通期計画 に対する 進捗率	
		増減	率		
加工食品	778	63	9%	25%	
水産	127	△11	△8%	25%	
畜産	186	△24	△12%	27%	
低温物流	659	45	7%	24%	
不動産	12	1	5%	25%	
その他	12	2	20%	19%	
調整額	△62	△4	—	—	
売上高合計	1,712	72	4%	25%	
(海外売上高合計)	394	54	16%	24%	
加工食品	58	20	54%	31%	7.5%
水産	0	0	36%	2%	0.2%
畜産	3	1	50%	34%	1.9%
低温物流	34	△6	△15%	20%	5.1%
不動産	4	△0	△2%	22%	35.3%
その他	1	2	—	12%	8.6%
調整額	△6	△1	—	—	—
営業利益合計	95	16	20%	24%	5.6%
経常利益	103	20	24%	26%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	64	15	30%	26%	

### 【売上高】

主力の加工食品事業と低温物流事業で、海外を中心に堅調に推移し4%増収

### 【営業利益】

加工食品事業の伸長が大きく寄与し20%増益

### 海外売上高 エリア別内訳

(単位：億円)

合計	北米	欧州	東南アジア	東アジア	その他
394	101	168	72	28	26
(+54)	(+11)	(+24)	(+17)	(+2)	(+1)

※ ( ) 内は前年同期間比、P21に参考情報あり

為替レート	25/3 1Q	24/3 1Q
米ドル/円	148.60	132.32
ユーロ/円	161.30	142.07
バーツ/円	4.17	3.91

(注) 1月～3月までの期中平均で算出

## ■ 販売数量の伸長などにより、営業利益は四半期単独では過去最高の58億円を達成

(単位：億円)

		第1四半期				営業利益率
		実績	前年同期間比		通期計画 に対する 進捗率	
			増減	率		
加工食品	売上高合計	778	63	9%	25%	7.5%
	家庭用調理品	226	18	9%	24%	
	業務用調理品	271	17	7%	24%	
	農産加工品	64	6	10%	27%	
	海外	180	23	15%	27%	
	その他	38	△1	△3%	26%	
	営業利益	58	20	54%	31%	

### 【売上高】

《家庭用調理品》9%増収（単価影響：+1%、数量影響：+8%）

- ・今年3月に実施したTVCM効果などもあり、米飯類やスナック類が大きく伸長
- ・パーソナルユース向けの新商品も増収に寄与

《業務用調理品》7%増収（単価影響：+1%、数量影響：+6%）

- ・大手ユーザー向けのチキン加工品や米飯類の拡販により増収
- ・前期から収益性改善に注力している惣菜ルート向けのチキン加工品の数量は前期を上回る水準に回復

### 《海外》

- ・北米事業では、インフレに伴う消費減退の影響が継続し現地通貨ベースでは減収だが為替換算影響で増収
- ・GFPTニチレイ社（タイ）は、タイ国内外での販売拡大に加え、バーツ安の影響により増収

### 【営業利益】

- ・円安などによるコスト高を、関係会社の業績改善や増収効果、価格改定効果などで吸収し54%増益

## ■ 国内では3PL事業・輸配送事業が伸長も、前期の高在庫からの反動などにより減益

(単位: 億円)

		第1四半期				営業利益率
		実績	前年同期間比		通期計画 に対する 進捗率	
			増減	率		
低温 物流	売上高合計	659	45	7%	24%	
	国内小計	466	14	3%	25%	
	物流ネットワーク	302	9	3%	25%	
	地域保管	164	5	3%	25%	
	海外	186	31	20%	23%	
	その他・共通	6	1	18%	14%	
	営業利益合計	34	△6	△15%	20%	5.1%
	国内小計	33	△5	△12%	23%	7.2%
	物流ネットワーク	16	△2	△13%	23%	5.2%
	地域保管	18	△2	△11%	23%	10.9%
海外	7	1	18%	16%	3.6%	
その他・共通	△6	△2	—	42%	—	

### 【国内】

#### 《売上高》

#### (物流ネットワーク)

- ・ 3PL事業・輸配送事業の伸長により 3%増収

#### (地域保管)

- ・ 荷動きの回復傾向に加え、前期に稼働した神戸六甲DCの新設効果などにより 3%増収

#### 《営業利益》

- ・ 輸入貨物を中心とした前期の高在庫からの反動減や、神戸六甲DCの償却費増などにより 12%減益

### 【海外】

#### 《売上高》

- ・ 欧州での小売り向けの事業が堅調に推移したことに加え、円安による為替換算影響もあり20%増収

#### 《営業利益》

- ・ 前期に実施したタイ、マレーシアでの連結子会社化が寄与し18%増益

- 水産は低収益商材の削減を進め、前期並みの利益を確保
- 畜産は価格改定の実施と取り扱いカテゴリーの選択と集中を進め減収増益

(単位：億円)

		第1四半期				
		実績	前年同期比		通期計画 に対する 進捗率	営業 利益率
			増減	率		
水産	売上高	127	△11	△8%	25%	
	営業利益	0	0	36%	2%	0.2%
畜産	売上高	186	△24	△12%	27%	
	営業利益	3	1	50%	34%	1.9%

## 【水産】

### 《売上高》

- ・ 低収益商材の削減を計画的に進めたことにより8%減収

### 《営業利益》

- ・ 魚卵の収益性低迷の影響は続いたものの、高収益商材やMSC・ASC認証品などの販売拡大により36%増益

## 【畜産】

### 《売上高》

- ・ 輸入冷凍食肉などの低収益商材の削減により12%減収

### 《営業利益》

- ・ 販売価格の改定や低収益商材の削減などにより50%増益

# 通期計画



## ■ 過去最高となる売上高7,000億円、営業利益405億円の達成を目指す

(単位：億円)

	通期					
	計画	前年同期間比		前回計画比		営業利益率
		増減	率	前回計画	増減	
加工食品	3,180	271	9%	3,100	80	
水産	500	△116	△19%	500	—	
畜産	680	△138	△17%	680	—	
低温物流	2,760	186	7%	2,740	20	
不動産	46	1	3%	46	—	
その他	64	△4	△6%	64	—	
調整額	△230	△2	—	△230	—	
<b>売上高合計</b>	<b>7,000</b>	199	3%	6,900	<b>100</b>	
(海外売上高合計)	1,683	233	16%	1,620	63	
加工食品	210	36	21%	190	20	6.6%
水産	13	7	120%	13	—	2.6%
畜産	10	△0	△4%	10	—	1.5%
低温物流	165	7	4%	170	△5	6.0%
不動産	19	2	15%	19	—	41.3%
その他	9	△4	△30%	9	—	14.1%
調整額	△21	△12	—	△21	—	—
<b>営業利益合計</b>	<b>405</b>	36	10%	390	<b>15</b>	5.8%
経常利益	412	29	8%	397	15	
親会社株主に帰属する当期純利益	260	15	6%	248	12	
<b>EPS (円)</b>	<b>204</b>	12	6%	194	9	

### 【売上高】

主に加工食品事業での堅調な進捗を踏まえ、前回計画より100億円上方修正

### 【営業利益】

低温物流事業ではサステナビリティ関連の先行投資が発生し下方修正するが、全体では加工食品事業のけん引により15億円上方修正

### 【EPS】

営業利益の上方修正に伴い、前回計画比9円増の204円へ

### 海外売上高 エリア別内訳

(単位：億円)

合計	北米	欧州	東南アジア	東アジア	その他
1,683	416	756	277	127	107
(+233)	(+72)	(+113)	(+30)	(+15)	(+3)

※ ( ) 内は前年同期間比、P21に参考情報あり

為替レート	25/3		24/3実績
	想定	前回想定からの増減	
米ドル/円	154.00	6.00	140.55
ユーロ/円	165.00	5.00	151.98
バーツ/円	4.20	0.20	4.04

(注)24/3実績は1月～12月までの期中平均で算出

## ■ 施策の着実な実行により、営業利益210億円、営業利益率6.6%を見込む

(単位：億円)

	計画	通期				営業利益率
		前年同期間比		前回計画比		
		増減	率	前回計画	増減	
売上高合計	3,180	271	9%	3,100	80	
家庭用調理品	935	61	7%	924	11	
業務用調理品	1,120	93	9%	1,120	—	
農産加工品	260	23	10%	239	21	
海外	713	94	15%	670	43	
その他	152	1	1%	147	5	
営業利益	210	36	21%	190	20	6.6%

### 【売上高】

《家庭用調理品》7%増収（単価影響:+1%、数量影響:+6%）

- ・主力カテゴリーを中心に積極的なプロモーション展開を継続
- ・秋の新商品「本当に旨い担々麺」などパーソナルユース向け商品の販売数量を拡大

《業務用調理品》9%増収（単価影響:+1%、数量影響:+8%）

- ・大手ユーザー向けの主力商品の拡販や、人手不足に対応した商品を拡充

### 【海外】

- ・北米事業では、主力販売先への既存・新規ブランドの販売数量の拡大に注力
- ・GFPTニチレイ社（タイ）では、加工度を高めた商品の販売拡大や、EU・中国向けの販売構成比を高める

### 【営業利益】

- ・コスト高は継続するが、関係会社の業績改善や増収効果などで吸収し20億円上方修正

## 営業利益の増減要因

(単位：億円)

	25/3		
	第1四半期実績	通期計画	前回通期計画比
前期 営業利益	38	174	—
<b>増益要因</b>	28	99	23
増収効果 (※)	10	37	6
価格改定効果	5	25	5
海外関係会社の業績影響額	10	22	10
生産性改善	2	9	2
減価償却費の増減	2	2	—
その他	△1	4	—
<b>減益要因</b>	△8	△63	△3
円安による原材料・仕入コストの増減	△8	△46	△8
原材料・仕入コストの増減	△1	△6	4
物流コストの増減	0	△9	—
動力燃料コストの増減	1	△2	1
当期 営業利益	58	210	20

※収益性重視の施策の実行による利益効果も含む

## 主な内容

- ・ 増収効果  
販売数量の伸長や収益性重視の販売施策効果
- ・ 価格改定効果  
2024年9月、10月から実施する改定効果を反映
- ・ 海外関係会社の業績影響額  
GFPTニチレイ社（タイ）の日本向け商品の数量伸長などに伴う収益拡大
- ・ 生産性改善  
福岡米飯工場などの改善効果
- ・ 円安による原材料・仕入コストの増減  
円安進行に伴う影響を反映
- ・ 原材料・仕入コストの増減  
主に卵・鶏肉類の相場が軟化

## 海外売上高実績と計画

(単位：億円)

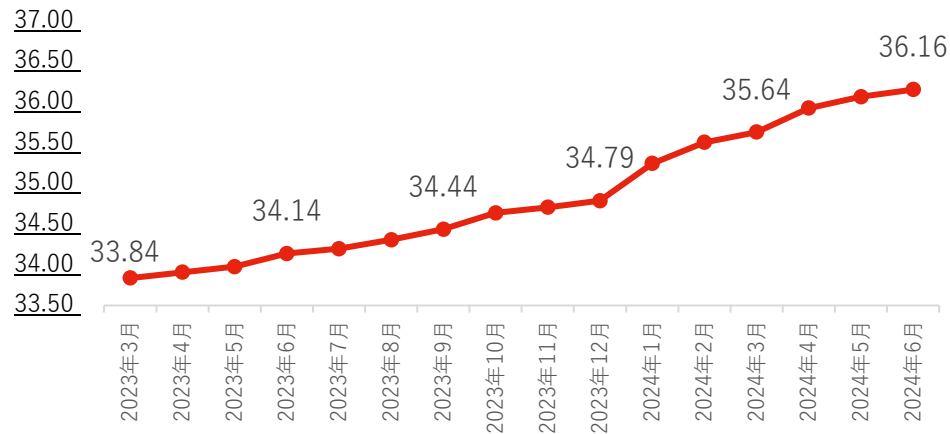
		2025年3月期					
		第1四半期			通期		
		実績	前年同期間比		計画	前年同期間比	
増減	率		増減	率			
売上高	北米	97	9	10%	400	65	20%
	GFPTニチレイ	64	12	23%	245	23	10%
	その他	19	2	14%	68	5	9%
	合計	180	23	15%	713	94	15%

## 【北米】 売上高・営業利益

		2025年3月期					
		第1四半期			通期		
		実績	前年同期間比		計画	前年同期間比	
増減	率		増減	率			
売上高	連結通貨（億円）	97	9	10%	400	65	20%
	現地通貨（百万USD）	65	△1	△2%	259	21	9%
営業利益	連結通貨（億円）	5	△1	△12%	25	1	3%
	現地通貨（百万USD）	3.7	△1.0	△21%	16.0	△1.3	△8%
営業利益率（連結通貨）		5.6%			6.3%		
為替レート（米ドル/円）		148.60			154.00		

※本決算より北米の業績（前年同期間比含む）は、イノバジアン・クイジーン社及びニチレイサクラメントフーズ社の合算数字を記載する

## 【タイ】 参考情報：ドルパーツの推移



※期中平均で算出

## 【北米】 新ブランド（ラテンブランド：DEL CORAZON）の紹介



- ・ラテンカテゴリーの冷凍食品はアペタイザー類がメインだったが、アジアブランド構築で培ったチキン、米飯商品の展開手法を活かし市場を開拓
- ・2024年3月にチキン、米飯、アペタイザー類の5アイテムより販売
- ・大手量販店への配荷は計画以上で進捗

## ■ 下期を中心に国内事業の収益改善を進め、7億円の増益を見込む

(単位：億円)

		通期					
		計画	前年同期間比		前回計画比		営業利益率
			増減	率	前回計画	増減	
低温物流	売上高合計	2,760	186	7%	2,740	20	
	国内小計	1,878	54	3%	1,878	—	
	物流ネットワーク	1,222	36	3%	1,222	—	
	地域保管	656	18	3%	656	—	
	海外	840	129	18%	820	20	
	その他・共通	42	4	10%	42	—	
	営業利益合計	165	7	4%	170	△5	6.0%
	国内小計	143	4	3%	143	—	7.6%
	物流ネットワーク	67	2	3%	67	—	5.5%
	地域保管	76	2	2%	76	—	11.6%
	海外	37	1	4%	42	△5	4.4%
	その他・共通	△15	1	—	△15	—	—

### 【国内】

#### 《売上高》

#### (物流ネットワーク)

- ・前期拡充した冷凍食品プラットフォームを活用し、新規顧客の誘致や既存顧客の集荷を強化

#### (地域保管)

- ・集荷拡大に注力し、在庫水準の回復を図る

#### 《営業利益》

- ・集荷拡大による増収効果と業務効率化による収益改善により4億円の増益を見込む

### 【海外】

#### 《売上高》

- ・円安による為替換算影響などを踏まえ20億円上方修正

#### 《営業利益》

- ・欧州でのCSRD関連の先行投資により5億円下方修正

## 営業利益の増減要因

(単位：億円)

	25/3		
	第1四半期 実績	通期計画	前回通期 計画比
前期 営業利益	40	158	—
<b>増益要因</b>	△3	16	△5
集荷増による業績影響額	△1	3	—
業務効率化	△2	2	—
適正料金收受などの施策効果	2	9	—
海外	1	1	△5
その他	△3	1	—
<b>減益要因</b>	△3	△9	—
エネルギーコストの増減	1	△3	—
外部委託コスト増 (庸車・倉庫内作業含む)	△2	△6	—
国内新設拠点稼働の一時費用	△2	—	—
当期 営業利益	34	165	△5

## 主な内容

- ・ 海外  
欧州でのCSRD (※) 関連の先行投資費用を反映

※CSRD : Corporate Sustainability Reporting Directive

- ・ EU域内において企業のサステナビリティ情報開示を強化するために施行された法律
- ・ 環境 (E)、社会 (S)、ガバナンス (G) の情報開示が義務化
- ・ 2025年度より適用開始 (報告は2026年)

## 海外売上高

(単位：億円)

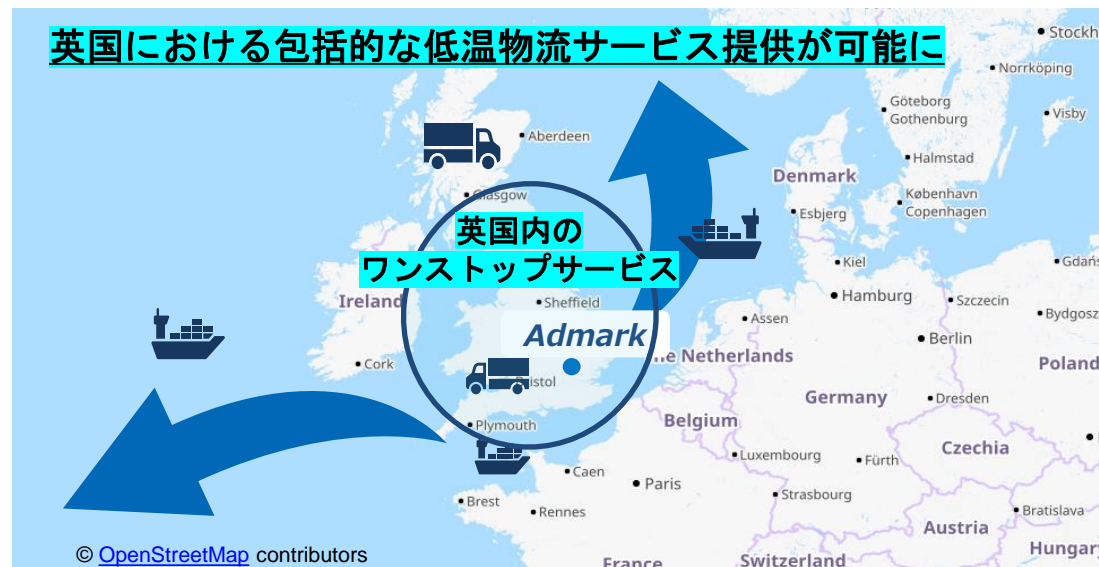
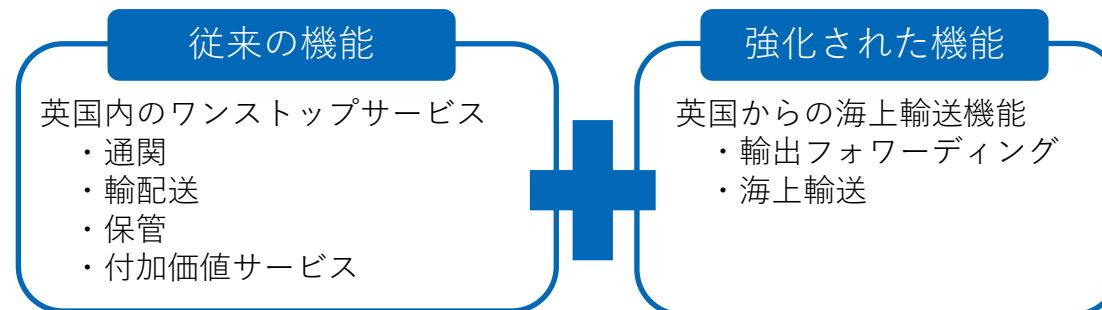
		2025年3月期					
		第1四半期			通期		
		実績	前年同期間比		計画	前年同期間比	
増減	率		増減	率			
売上高	欧州	168	24	16%	756	114	18%
	東アジア	12	2	17%	57	5	10%
	東南アジア	6	5	426%	27	10	59%
	合計	186	31	20%	840	129	18%

## 欧州売上高

		2025年3月期					
		第1四半期			通期		
		実績	前年同期間比		計画	前年同期間比	
増減	率		増減	率			
連結通貨 (億円)	保管	68	14	26%	294	50	20%
	通関・輸配送	100	9	10%	463	64	16%
	合計	168	24	16%	756	114	18%
現地通貨 (百万ユーロ)	保管	42	4	12%	178	18	11%
	通関・輸配送	62	△2	△3%	280	18	7%
	合計	104	3	2%	458	36	8%

## 英国のフォワーディング会社（アドマーク社）の買収について

- ・2024年5月、輸出フォワーディング事業、とりわけ冷凍品の海上輸送に強みを持つ英国のアドマーク社を買収
- ・海上輸送機能の強化により、英国における更なる事業拡大を目指す



## ■ 水産、畜産ともに事業構造改革を継続し、通期計画の達成を目指す

(単位：億円)

		通期					営業 利益率
		計画	前年同期間比		前回計画比		
			増減	率	前回計画	増減	
水産	売上高	500	△116	△19%	500	—	
	営業利益	13	7	120%	13	—	2.6%
畜産	売上高	680	△138	△17%	680	—	
	営業利益	10	△0	△4%	10	—	1.5%

### 【水産】

#### 《売上高》

- ・低収益商材の大幅削減を計画的に進める一方で、北米をメインにした海外販売を強化

#### 《営業利益》

- ・価格改定や高収益商材及びMSC・ASC認証品の取り扱い拡大などで吸収し、120%増益を見込む

### 【畜産】

#### 《売上高》

- ・低収益商材の削減を継続するが、加工品や健康価値食肉など差別化商品の拡販を推進

#### 《営業利益》

- ・輸入冷凍品などの低収益商材の削減により、計画通りの利益を見込む



# Appendix

# 貸借対照表の増減要因

(単位：億円)

	2024年3月期 期末	2025年3月期 第1四半期	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	2,014	2,127	113 ①
固定資産	2,837	2,869	31 ②
資産合計	4,852	4,996	144
<b>負債・純資産の部</b>			
流動負債	1,235	1,260	25
固定負債	957	1,009	52 ③
負債合計	2,192	2,270	78
純資産合計	2,659	2,726	67 ④
（うち自己資本）	2,534	2,594	60
有利子負債	980	1,095	115
（うちリース債務除く）	839	958	119

## 【主な増減要因】

- ①現金及び預金 + 38億円
- 商品及び製品 + 16億円
- ②建設仮勘定 + 30億円
- ③長期借入金 + 48億円
- ④繰延ヘッジ損益 + 11億円
- 為替換算調整勘定 + 32億円

## 【主な実績】

- ⑤ズニン冷蔵倉庫増設（ポーランド） 16億円  
《設備投資予定総額：23億円》

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減
設備投資額	69	66	△3 ⑤
（うちリース資産除く）	63	60	△3
減価償却費	58	58	△0
（うちリース資産除く）	49	50	1

# 2025年3月期 年間業績・計画一覧

おいしい瞬間を届けたい



(単位：億円)

	第1四半期			通期		
	実績	前年同期間比		計画	前年同期間比	
		増減	率		増減	率
加工食品	778	63	9%	3,180	271	9%
家庭用調理品	226	18	9%	935	61	7%
業務用調理品	271	17	7%	1,120	93	9%
農産加工品	64	6	10%	260	23	10%
海外	180	23	15%	713	94	15%
その他	38	△1	△3%	152	1	1%
水産	127	△11	△8%	500	△116	△19%
畜産	186	△24	△12%	680	△138	△17%
低温物流	659	45	7%	2,760	186	7%
国内小計	466	14	3%	1,878	54	3%
物流ネットワーク	302	9	3%	1,222	36	3%
地域保管	164	5	3%	656	18	3%
海外	186	31	20%	840	129	18%
その他・共通	6	1	18%	42	4	10%
不動産	12	1	5%	46	1	3%
その他	12	2	20%	64	△4	△6%
調整額	△62	△4	—	△230	△2	—
売上高合計	1,712	72	4%	7,000	199	3%
(海外売上高合計)	394	54	16%	1,683	233	16%
加工食品	58	20	54%	210	36	21%
水産	0	0	36%	13	7	120%
畜産	3	1	50%	10	△0	△4%
低温物流	34	△6	△15%	165	7	4%
国内小計	33	△5	△12%	143	4	3%
物流ネットワーク	16	△2	△13%	67	2	3%
地域保管	18	△2	△11%	76	2	2%
海外	7	1	18%	37	1	4%
その他・共通	△6	△2	—	△15	1	—
不動産	4	△0	△2%	19	2	15%
その他	1	2	—	9	△4	△30%
調整額	△6	△1	—	△21	△12	—
営業利益合計	95	16	20%	405	36	10%
経常利益	103	20	24%	412	29	8%
親会社株主に帰属する四半期純利益ないし当期純利益	64	15	30%	260	15	6%

# 各中計期間の業績の推移

おいしい瞬間を届けたい



(単位：億円)	energy 2012 (10-12年度)			RISING 2015 (13-15年度)			POWER UP 2018 (16-18年度)			WeWill 2021 (19-21年度)			Compass Rose 2024 (22-24年度)		
	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3E
加工食品事業	1,619	1,742	1,616	1,807	1,939	1,992	2,050	2,207	2,266	2,348	2,255	2,442	2,757	2,909	3,180
水産事業	668	657	637	686	687	688	694	715	712	658	631	677	690	616	500
畜産事業	783	756	755	801	895	920	881	904	911	883	841	803	858	818	680
低温物流事業	1,394	1,495	1,564	1,684	1,783	1,849	1,869	1,951	2,010	2,065	2,123	2,245	2,442	2,574	2,760
不動産事業	66	49	47	50	47	46	46	49	48	50	46	43	45	45	46
その他の事業	62	60	58	37	44	52	45	53	58	57	49	42	61	68	64
調整額	△ 215	△ 210	△ 200	△ 191	△ 196	△ 194	△ 189	△ 199	△ 204	△ 212	△ 218	△ 226	△ 231	△ 228	△ 230
売上高合計	4,378	4,549	4,477	4,874	5,200	5,354	5,397	5,680	5,801	5,849	5,728	6,027	6,622	6,801	7,000
加工食品事業	46	52	60	34	54	80	139	146	146	167	172	142	140	174	210
水産事業	6	2	1	4	2	7	8	3	2	4	5	10	10	6	13
畜産事業	4	5	5	1	4	4	16	13	15	9	13	12	10	10	10
低温物流事業	73	74	86	89	87	100	106	113	114	118	131	146	151	158	165
不動産事業	36	24	23	24	21	22	21	22	21	20	20	17	18	17	19
その他の事業	4	5	4	4	6	9	6	8	3	△ 3	△ 3	△ 3	8	13	9
調整額	△ 2	0	0	1	0	△ 5	△ 3	△ 5	△ 6	△ 6	△ 8	△ 9	△ 7	△ 9	△ 21
営業利益合計	167	162	179	158	174	216	293	299	295	310	329	314	329	369	405
経常利益	161	153	172	144	169	214	291	307	299	318	335	317	334	383	412
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	79	98	89	95	135	188	191	199	196	212	234	216	245	260
総資産	2,846	2,905	2,979	3,185	3,420	3,385	3,462	3,673	3,773	3,900	4,057	4,276	4,573	4,852	
設備投資等（リース資産を含む）	221	122	132	240	242	162	139	250	241	273	378	279	304	313	368
ROIC（％）				4.2	4.3	5.9	8.0	8.1	7.8	7.6	7.5	7.8	6.9	7.5	7.8
自己資本比率（％）	40.4	40.2	41.3	41.9	43.0	44.4	46.0	44.3	46.9	47.3	50.1	49.4	49.1	52.2	
営業利益率（％）	3.8	3.6	3.8	3.1	3.3	4.0	5.4	5.3	5.1	5.3	5.8	5.2	5.0	5.4	5.8
ROE（自己資本利益率）（％）	3.4	6.8	8.2	6.9	6.8	9.1	12.1	11.9	11.7	10.9	10.9	11.3	9.9	10.3	10%以上
1株当たり純利益（EPS）	13.08	26.35	33.40	31.12	33.29	94.30	135.11	142.23	149.65	147.16	159.19	176.72	167.14	191.80	203.57
1株当たり配当金（DPS）	9	9	10	10	10	12	28	30	32	42	50	50	52	74	82
期末日現在株価（円）	355	388	561	436	674	916	2,754	2,940	2,728	3,055	2,849	2,369	2,684	4,143	

注：①設備投資等には無形固定資産を含む

②13/3より、加工食品の売上高は、売上計上基準の変更（従来、販売費で計上していたものの一部を売上高から控除）による影響を反映

③16/3以前は、株式併合前の数値となる

# ROICの推移

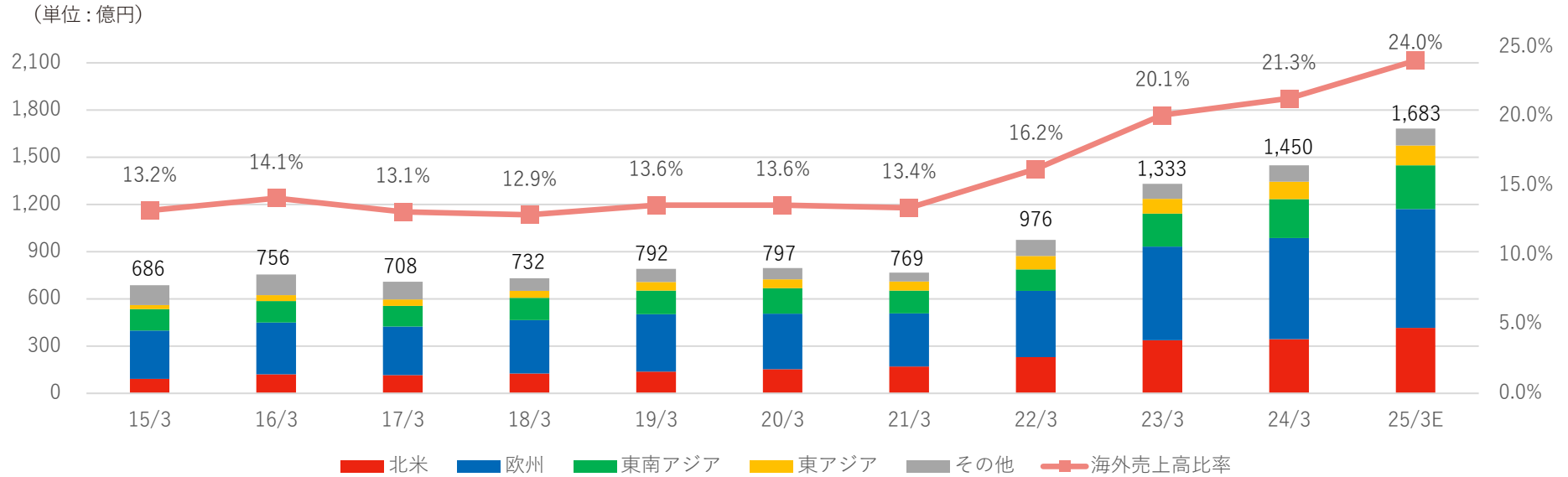
おいしい瞬間を届けたい



	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3E
<b>グループ全体 ROIC (%)</b>	<b>4.2</b>	<b>4.3</b>	<b>5.9</b>	<b>8.0</b>	<b>8.1</b>	<b>7.8</b>	<b>7.6</b>	<b>7.5</b>	<b>7.8</b>	<b>6.9</b>	<b>7.5</b>	<b>7.8</b>
NOPAT率 (%)	2.0	2.1	2.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.9	4.1	3.5	3.9	4.0
使用資本回転率 (回)	2.1	2.0	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	1.9	1.9	2.0	1.9	1.9
WACC (%)										4.0	4.0	4.0
<b>加工食品</b>												
<b>簡易ROIC (%)</b>	<b>3.2</b>	<b>5.2</b>	<b>8.3</b>	<b>15.3</b>	<b>14.4</b>	<b>13.3</b>	<b>15.1</b>	<b>13.9</b>	<b>10.3</b>	<b>8.5</b>	<b>10.8</b>	<b>12.5</b>
税引後営業利益率 (%)	1.0	1.6	2.7	4.7	4.6	4.5	4.9	5.3	4.0	3.5	4.1	4.6
主要使用資本回転率 (回)	3.1	3.2	3.1	3.3	3.2	3.0	3.1	2.6	2.6	2.4	2.6	2.8
<b>低温物流</b>												
<b>簡易ROIC (%)</b>	<b>5.2</b>	<b>5.0</b>	<b>6.0</b>	<b>6.9</b>	<b>7.0</b>	<b>7.1</b>	<b>7.2</b>	<b>7.8</b>	<b>7.8</b>	<b>7.7</b>	<b>7.2</b>	<b>7.2</b>
税引後営業利益率 (%)	3.3	3.1	3.6	3.9	4.0	3.9	4.0	4.3	4.5	4.3	4.2	4.1
主要使用資本回転率 (回)	1.6	1.6	1.7	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.8	1.7	1.8
<b>水産</b>												
<b>簡易ROIC (%)</b>	<b>1.5</b>	<b>0.8</b>	<b>2.2</b>	<b>2.7</b>	<b>1.0</b>	<b>0.6</b>	<b>1.6</b>	<b>2.0</b>	<b>3.3</b>	<b>3.5</b>	<b>2.9</b>	<b>7.5</b>
税引後営業利益率 (%)	0.4	0.2	0.6	0.8	0.3	0.2	0.5	0.6	1.0	1.0	0.7	1.8
主要使用資本回転率 (回)	3.9	3.6	3.4	3.4	3.4	3.5	3.3	3.4	3.4	3.7	4.4	4.2
<b>畜産</b>												
<b>簡易ROIC (%)</b>	<b>1.6</b>	<b>3.5</b>	<b>6.2</b>	<b>29.5</b>	<b>16.3</b>	<b>16.8</b>	<b>13.6</b>	<b>21.5</b>	<b>20.2</b>	<b>13.8</b>	<b>12.4</b>	<b>16.8</b>
税引後営業利益率 (%)	0.1	0.3	0.3	1.3	1.0	1.1	0.7	1.1	1.0	0.8	0.9	1.0
主要使用資本回転率 (回)	15.9	13.1	22.4	23.3	16.4	15.2	19.1	20.0	20.1	17.9	14.1	16.2
<b>バイオサイエンス</b>												
<b>簡易ROIC (%)</b>	<b>8.4</b>	<b>9.6</b>	<b>14.9</b>	<b>9.5</b>	<b>9.4</b>	<b>2.3</b>	<b>△ 2.2</b>	<b>△ 3.2</b>	<b>△ 3.0</b>	<b>8.9</b>	<b>12.5</b>	<b>9.2</b>
税引後営業利益率 (%)	7.6	9.4	13.3	11.1	11.4	4.5	△ 4.5	△ 6.6	△ 6.1	12.0	15.2	10.9
主要使用資本回転率 (回)	1.1	1.0	1.1	0.9	0.8	0.5	0.5	0.5	0.5	0.7	0.8	0.8

注：簡易ROIC=税引後営業利益÷主要使用資本（営業資金＋有形無形固定資産）

2024年3月期期末決算（2024年5月14日開示）までの開示からエリアの区分変更を行ったため遡及して開示する



(単位：億円)

	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3E
海外売上高合計	686	756	708	732	792	797	769	976	1,333	1,450	1,683
北米	92	122	116	126	138	153	171	230	338	344	416
欧州	307	328	309	339	365	353	338	421	595	643	756
東南アジア	137	137	131	142	151	163	144	137	210	247	277
東アジア	26	38	41	45	53	56	59	86	94	112	127
その他	125	131	112	80	84	72	56	101	95	104	107
海外売上高比率	13.2%	14.1%	13.1%	12.9%	13.6%	13.6%	13.4%	16.2%	20.1%	21.3%	24.0%
為替レート											
米ドル/円	105.86	121.05	108.87	112.19	110.44	109.06	106.83	109.80	131.45	140.55	154.00
ユーロ/円	140.43	134.32	120.36	126.66	130.42	122.08	121.82	129.88	138.05	151.98	165.00

(注) 実績の為替レートは当該年1月～12月までの期中平均で算出している

## SCI 家庭用調理冷凍食品 100人当たり購入金額の前年同四半期比

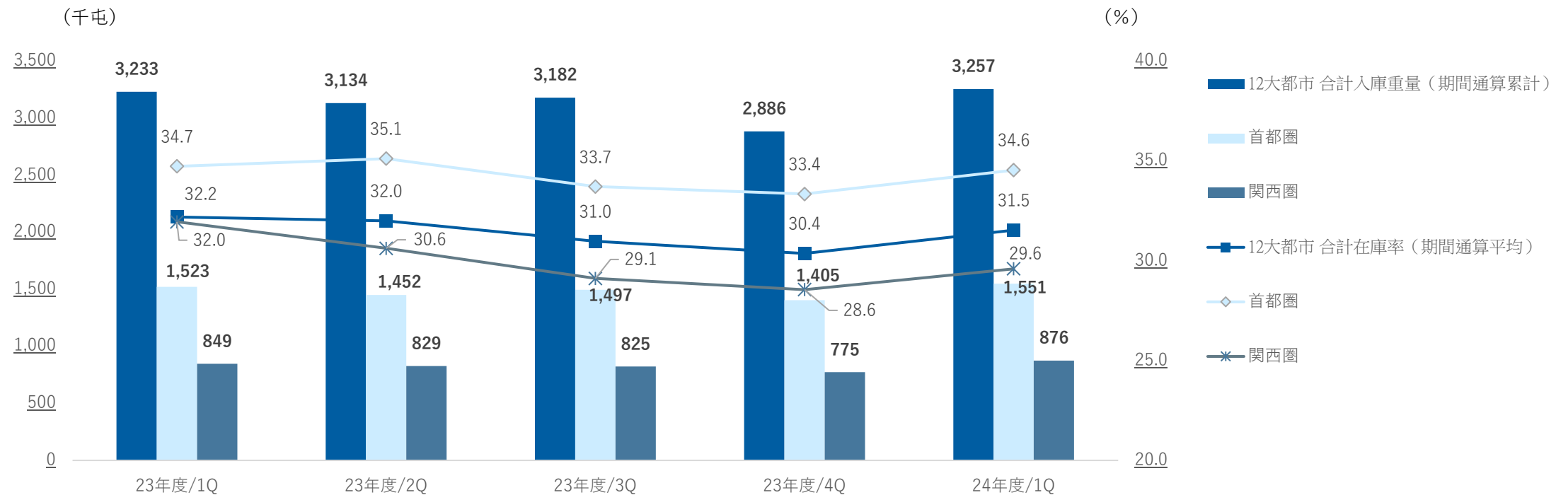
市場	24/3期 1 Q	24/3期 2 Q	24/3期 3 Q	24/3期 4 Q	24/3期累計	25/3期 1 Q
全体	109%	106%	106%	106%	107%	103%
畜肉フライ	128%	123%	118%	107%	119%	96%
ピラフご飯類	103%	104%	105%	104%	104%	101%
おにぎり	112%	107%	125%	109%	113%	107%
和風スナック	106%	107%	109%	103%	106%	108%
ハンバーグ	112%	110%	109%	95%	106%	91%

出典：インテージSCI（冷凍調理 100人当たり購入金額の前年四半期比の推移（70代まで））。購入ルート＝生協店舗・店舗以外を含む。（宅配等含む）

## 当社の価格改定の【実施時期】と【改定効果の発現時期】

実施時期	改定対象	改定率 (当初計画)	2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期				
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
2021年11月	家庭用	約4～8%	■■■■																
	業務用	約3～10%	■■■■																
2022年3月	農産加工品	約8～15%	■■■■																
2022年4月	業務用	約4～10%	■■■■																
2022年8月	家庭用	約8～20%		■■■■	■■■■	■■■■													
2022年9月	業務用	約4～22%		■■■■	■■■■	■■■■													
2023年2月	家庭用	約6～20%				■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■									
	業務用	約5～25%				■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■									
2023年7月	業務用	約8～27%							■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■						
2024年3月	家庭用	約1～6%									■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■				
2024年4月	業務用	約1～6%									■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■				
2024年9月	農産加工品、家庭用	約3～7%											■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■		
2024年10月	農産加工品、業務用	約5～7%											■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■		
改定効果（億円）			10	25	32	47	50	39	30	10	5	20							
			合計114億円				合計129億円				合計25億円								

## 業界の冷蔵倉庫稼働状況



出典：一般社団法人 日本冷蔵倉庫協会「主要12都市受寄物庫腹利用状況一覧表」を当社で加工



## ■「DX銘柄2024」への選定について

<https://www.nichirei.co.jp/news/2024/457.html>

## ■英国のフォーディング会社の買収に関するお知らせ

<https://www.nichirei-logi.co.jp/news/2024/20240603.html>

## ■商品価格一部改定のお知らせ

[https://www.nichireifoods.co.jp/news/2024/info\\_id40856/](https://www.nichireifoods.co.jp/news/2024/info_id40856/)

## ■ニチレイグループの健康経営において「DBJ健康経営格付」を3回連続で獲得

<https://www.nichirei.co.jp/news/2024/463.html>

## ■ESG投資の代表的指数「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に22年連続で選定

<https://www.nichirei.co.jp/news/2024/464.html>

## ■不足しがちなたんぱく質を日常の食事からおいしく・手軽に摂れる

ニチレイの考える健康ブランド『everyONE meal』新登場 小売店・ECで販売開始

[https://www.nichireifoods.co.jp/news/2024/info\\_id40995/](https://www.nichireifoods.co.jp/news/2024/info_id40995/)

## ■ニチレイフーズ 2024年秋季新商品・リニューアル商品のご案内 全40品がラインアップ

[https://www.nichireifoods.co.jp/news/2024/info\\_id40923/](https://www.nichireifoods.co.jp/news/2024/info_id40923/)



everyONE meal  
五目炒飯



本当に旨い担々麺

当資料に記されたニチレイの現在の計画・見通し・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただくようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与え得るリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます：

- ①ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢および業界環境
- ②米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
- ③商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
- ④新商品・新サービス開発の実現性
- ⑤成長戦略とローコスト構造の実現性
- ⑥ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
- ⑦偶発事象の結果

など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでニチレイをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。